

令和5年度「子供司書」養成講座全体研修

■日時:令和5年7月15日(土) 10:00~16:00

■場所:庄原市田園文化センター

■対象者:「子供司書」養成講座受講者16名(庄原市内小学校第5・6学年希望者)

【目的】児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書活動の楽しさを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図るとともに、言語活動の充実により学力向上を図る。

講話「『子供司書』になろう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係長 小谷 綾子



【講話】

- 「子供司書」は、子供の読書活動を進めるリーダーである。講座を通して、周りの友達に読書を好きになってもらうよう読書のよさや楽しさを伝えるとともに、感謝の気持ちをもって人としても成長してほしい。
- 地域の図書館や学校で、読み聞かせ、ポップ作り、図書館の掲示物やコーナー作りなど、「子供司書」認証を目指して、頑張してほしい。自分で考えて、工夫した活動にも挑戦するとよい。

講話「『日本十進分類法』を学ぼう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係長 小谷 綾子



【講話】

- 「日本十進分類法」は本を種類ごとに分類したもので、これにより本の整理や検索を行うことができる。
- 同じようなタイトルでも、本の内容によって分類番号が異なる。
- 絵本など、日本十進分類法とは別に、図書館独自で分類している場合もある。

【演習】

☆実際に本のラベルや奥付を見て、どの分類になるか確かめました。

講話・演習 「読み聞かせのプロから学ぼう！」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐



【講話・演習】

- 選書が重要であり、ある程度の大きさがあり、絵がよく見える本を選ぶこと、季節や場所に配慮することが大切である。
 - 読み聞かせをする前に、まずは絵だけを見て、その後黙読をし、それから初めて声に出して読むようにしましょう。
 - 絵本の読み聞かせをするときは、ゆっくり読もう。本を持つ時や本をめくる時に、手で絵を隠さないように、どちらの手で持つかも大事。
- ☆一人一人、ポイントを意識しながら、読み聞かせの練習をがんばりました。昨年度認証された子供司書もアドバイスしてくれました。

演習 『『おすすめの本のポップを作ろう』大作戦！』

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係長 小谷 綾子



【演習】

☆次の6つのポイントを生かしながら、自分の紹介したい本のポップを作成しました。

<よりよいポップを作るポイント>

- ①タイトルや作者名をはっきり分かりやすく書く
- ②内容を少しだけ紹介する
- ③キャッチコピーを書く
- ④輝く言葉を引用する
- ⑤デザインやイラストを工夫する
- ⑥どうおもしろいかを書く

参加した児童の感想

- ・読み聞かせをするときに、肩の高さで倒れないように立てて持つことが勉強になりました。横書きか縦書きかによって持つ手を変えることを初めて知りました。
- ・本のラベルの番号は学校の先生が決めていると思っていたけれど、実は違っていたということを知って、勉強になりました。
- ・「子供司書」になるためにはいっぱいすることがあるけれど、がんばろうと思いました。読み聞かせ、ポップ作りなども、ますます深く学びたいくなりました。
- ・学校でも読み聞かせをしているので、今日学習したことを生かして、またやっていきたいと思いました。